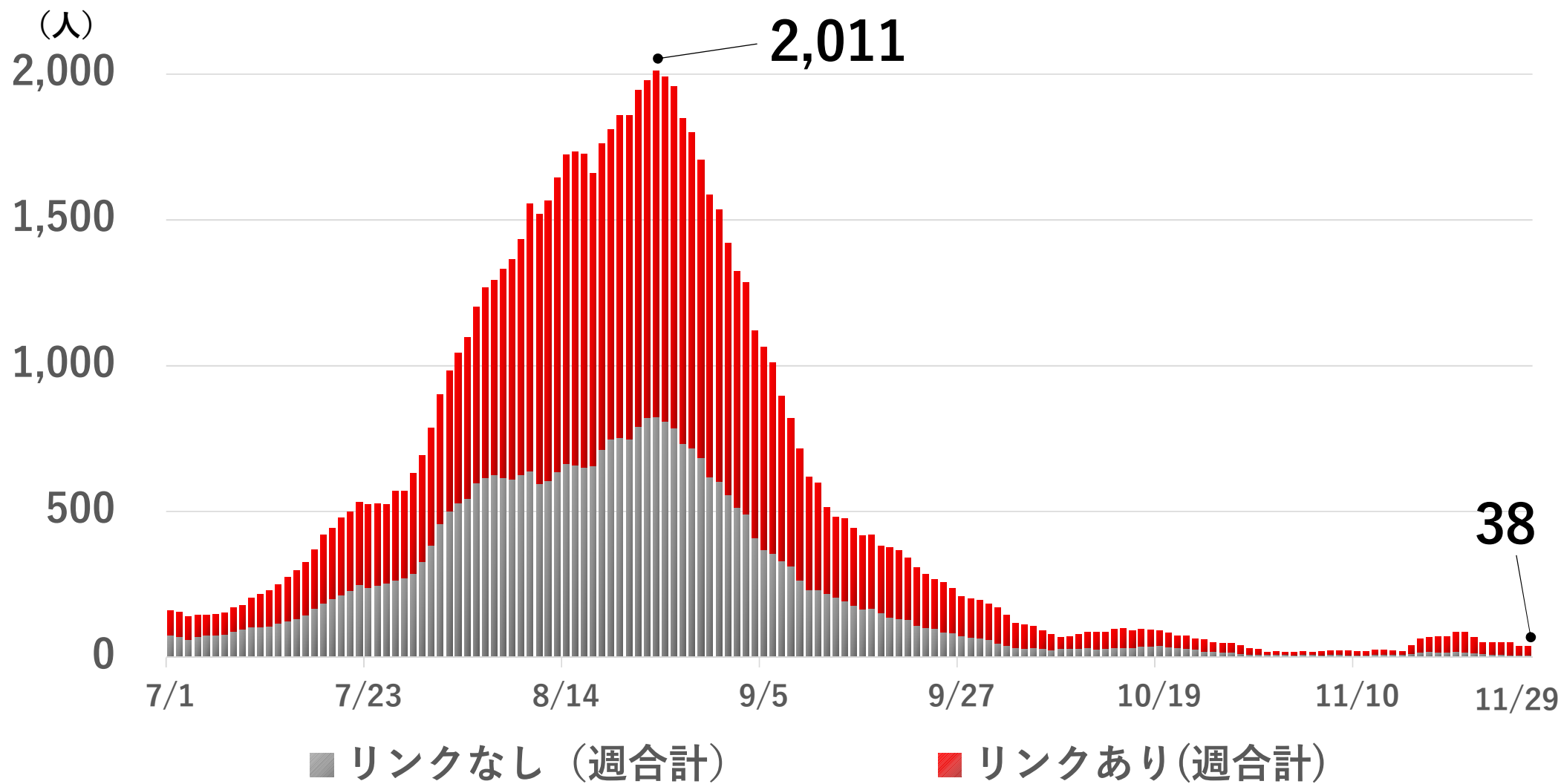


札幌市感染症対策本部会議

札幌市の感染状況について

令和3年11月30日
札幌市保健所

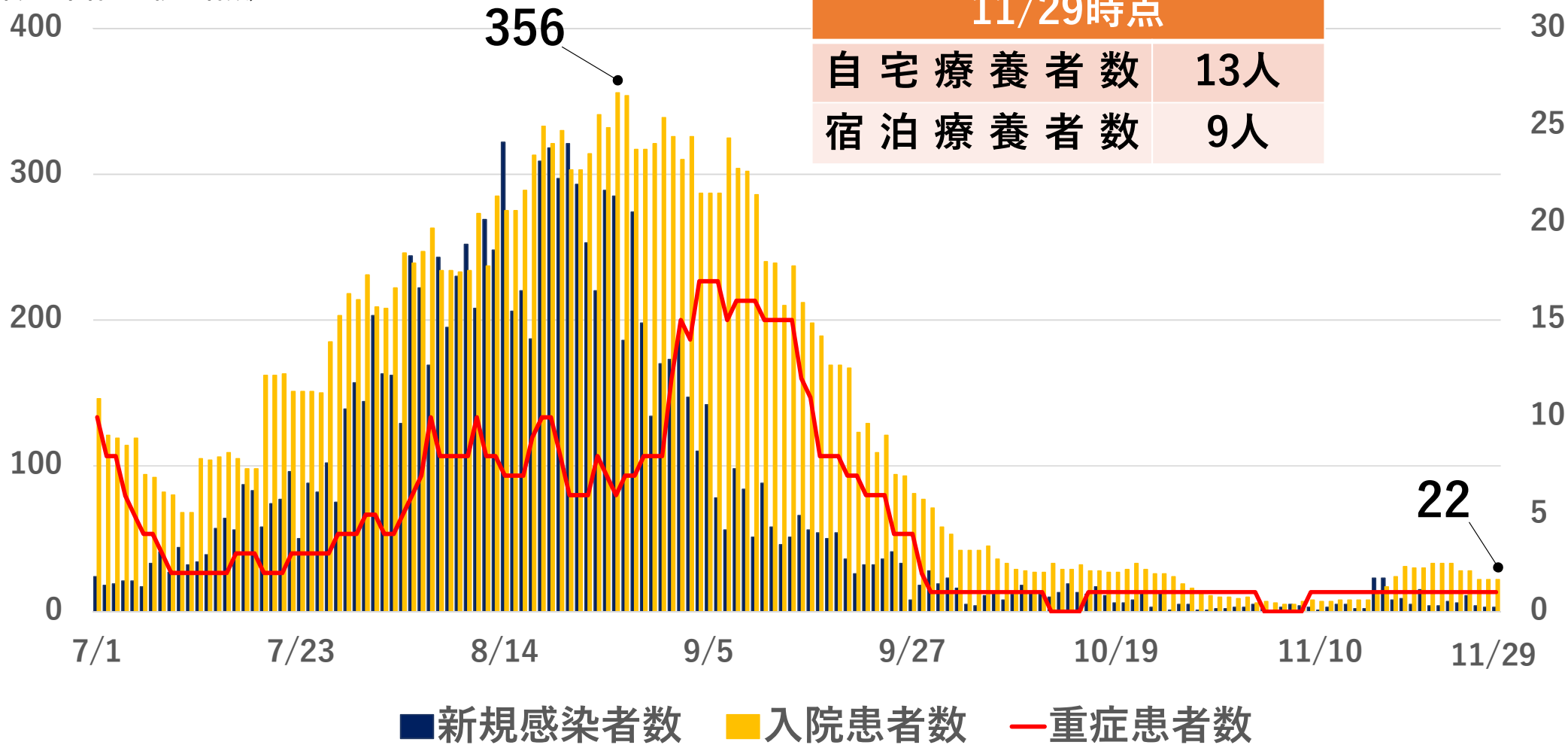
市内新規感染者数の推移



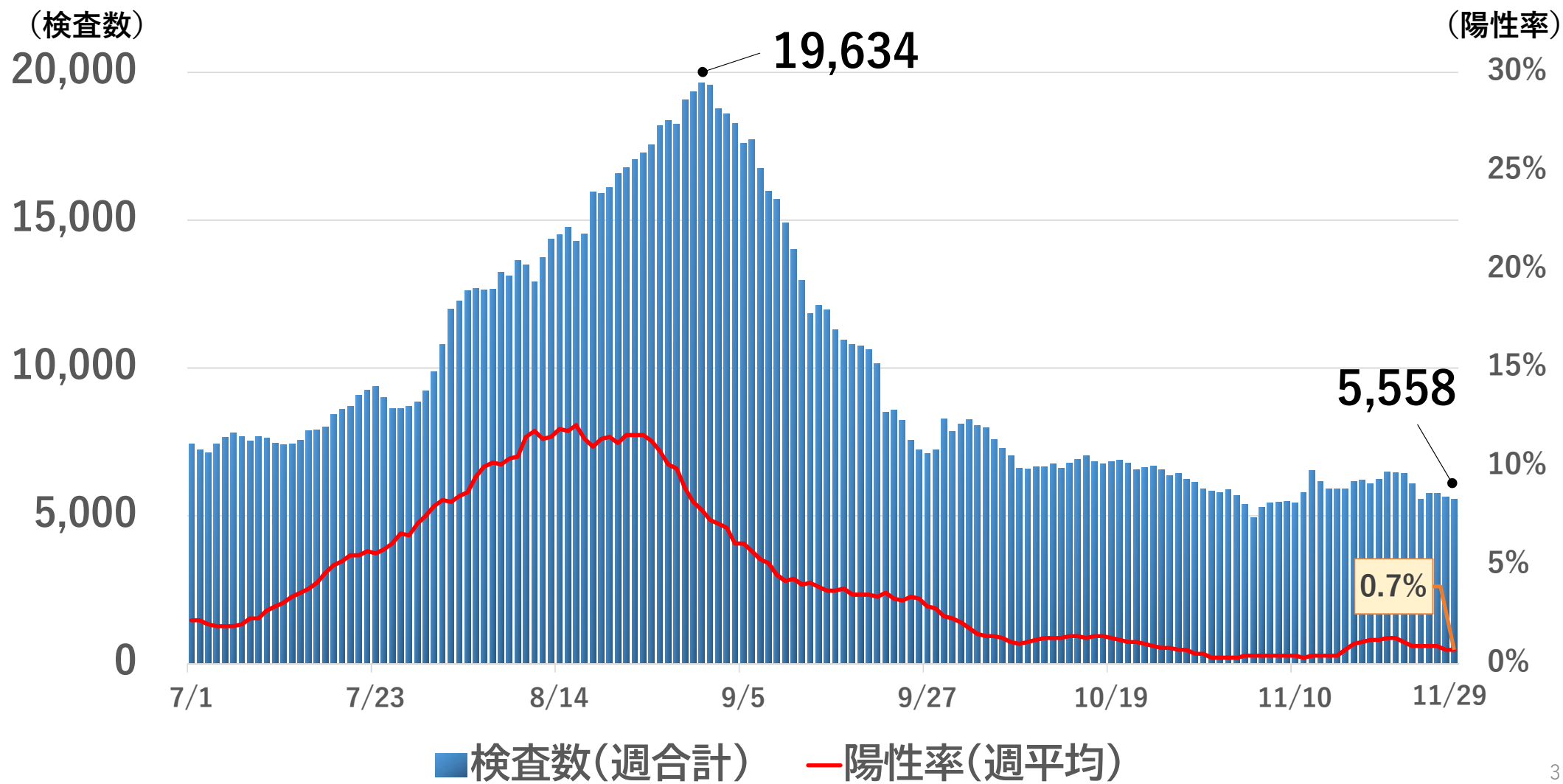
札幌市民の感染者数・入院患者数・重症患者数の推移

(新規感染者・入院患者数)

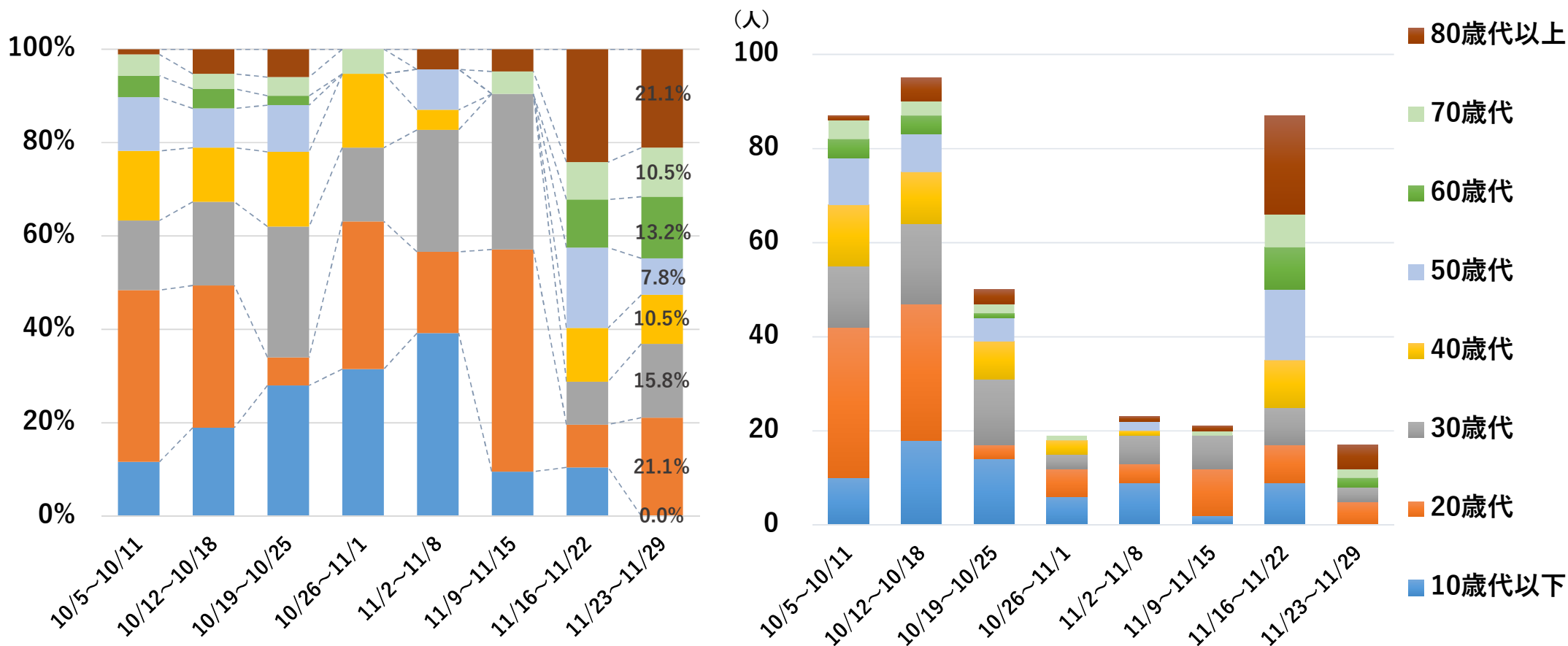
(重症患者数)



市内検査数と陽性率の推移

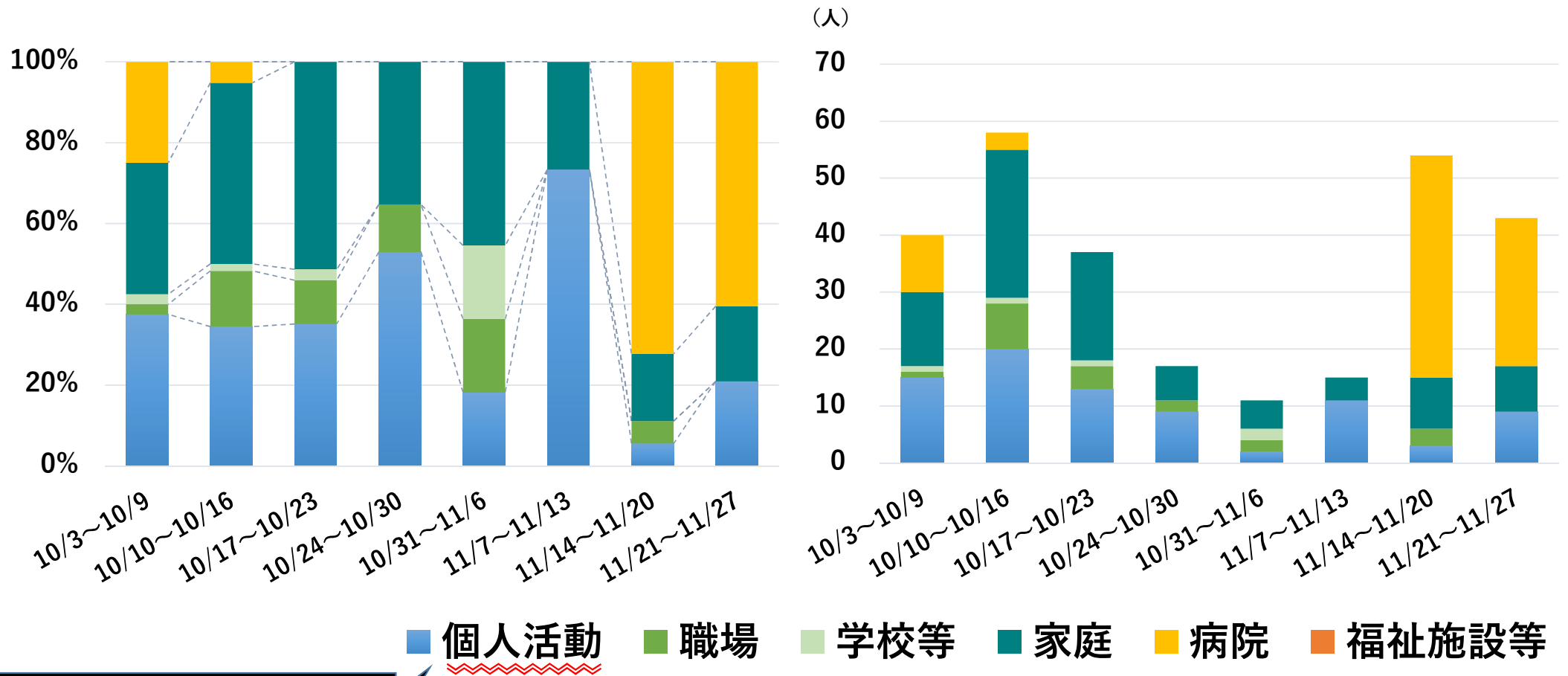


市内年齢別感染者数の割合



➤ 集団感染の影響により、60歳代以上の割合に増加がみられる

市内新規感染者（リンクあり）の感染経路



⚠ 室内ゲームの場で複数の感染事例

➤ 医療機関と個人活動の割合が増加

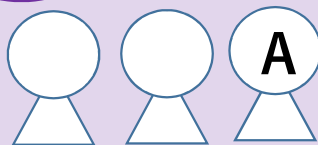
室内ゲームの場での感染事例

➤ 室内でのゲームの大会や、その練習の場での感染事例が複数発生

個人宅

- 自宅に集まり練習
- ワクチン未接種の複数名が感染

感染

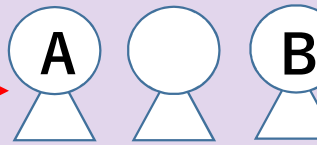


参加

ゲーム大会①

- 多人数が室内で長時間ゲーム
- 主催者が参加者情報確認不十分

感染

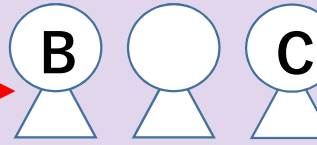


参加

ゲーム大会②

- 状況は大会①同様

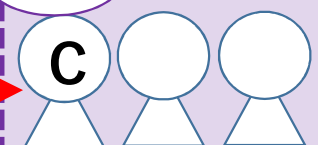
感染



検査までに時間を要した
⇒治療薬が使えず、
重症化・入院に

家庭・職場

感染



➤ 主催者の皆様

- ✓ 多人数が長時間集まる場には一定の感染リスク
- ✓ 参加者の体調確認や、こまめな室内の換気を徹底
- ✓ 接触確認アプリの利用奨励など、いざというときの備えを
- ✓ **リスク管理の徹底をお願いします**

➤ 参加者の皆様

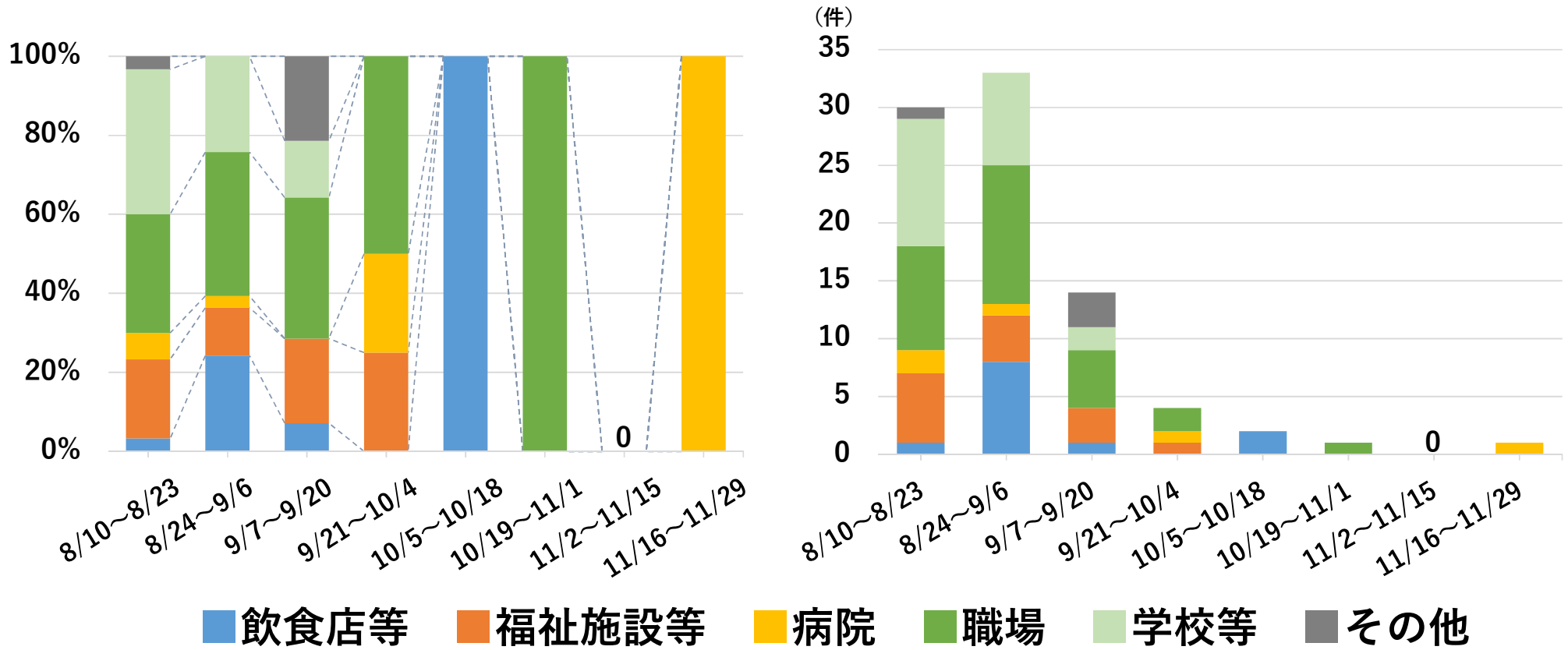
- ✓ マスク・手指消毒など基本的感染対策の徹底
- ✓ 体調不良時は外出を見合わせ、気になる症状のときは保健所（#7119）へすぐ連絡
- ✓ **感染・重症化リスクを下げるワクチン接種もご検討を**

発症から日数が経過すると治療薬は使えません！

○安全に楽しむために、しっかりと対策を

○身近な人を守るために調査にご協力をお願いします

市内集団感染事例



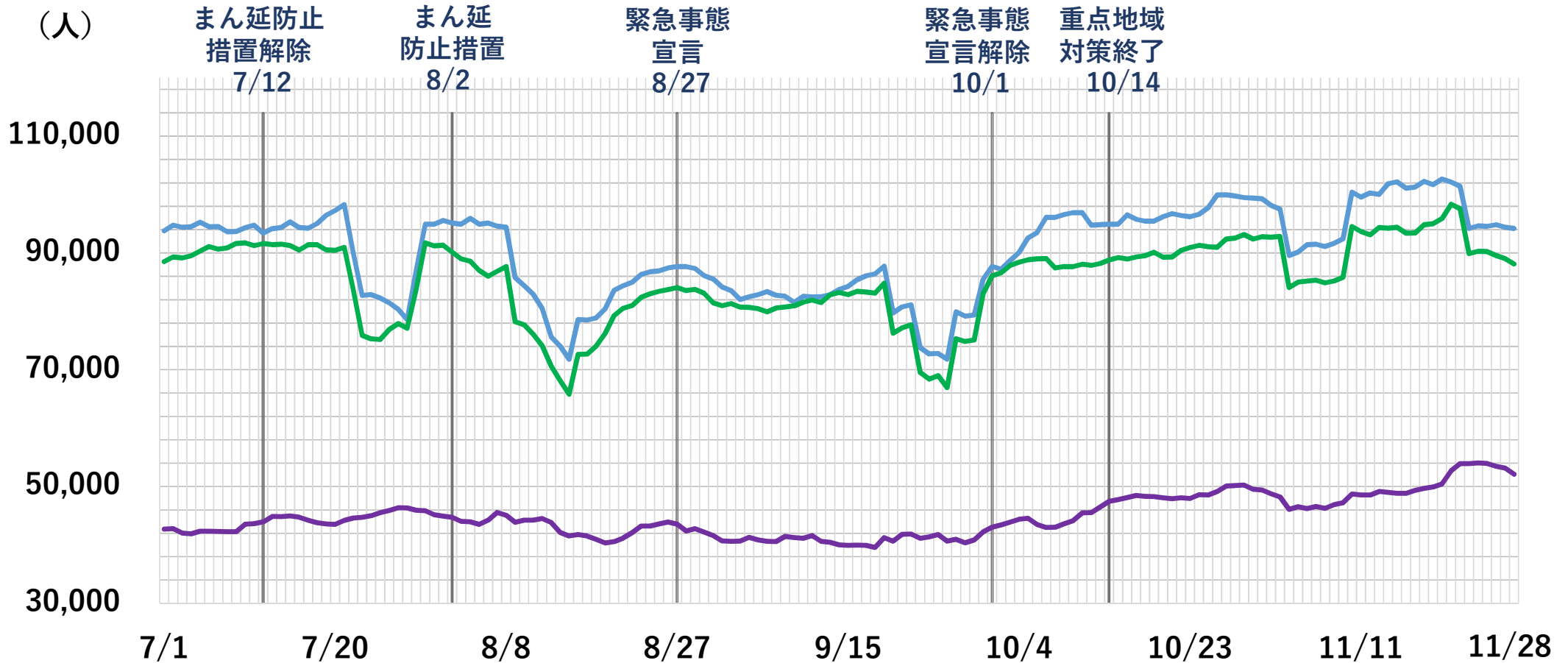
➤ 10月以降、発生件数は低い水準で推移

市内中心部の人出（午前9時、7日間平均）

—札幌駅

—大通駅

—すすきの駅



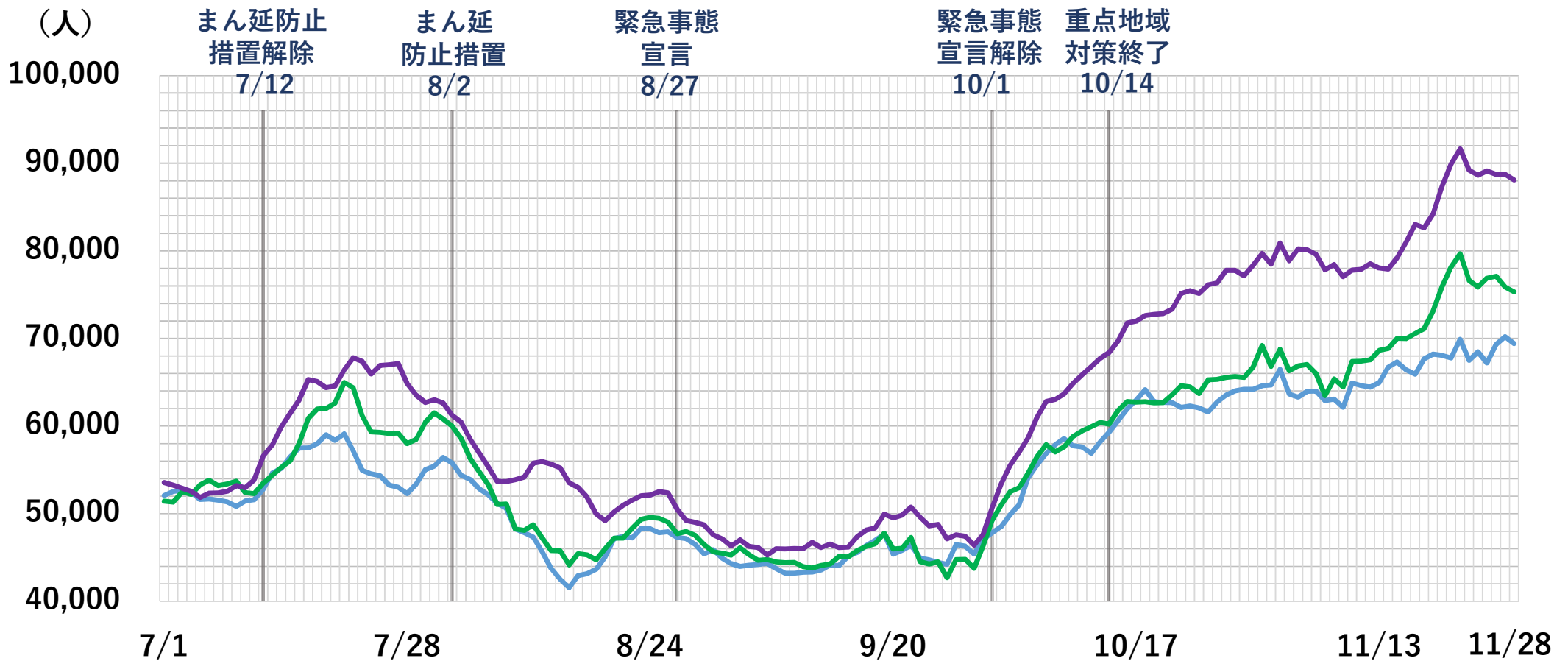
※Agoop社提供データを元に作成

市内中心部の人出（午後8時、7日間平均）

札幌駅

大通駅

すすきの駅



※Agoop社提供データを元に作成

入院受入病床の状況

資料 1

令和3年11月30日
保健福祉局保健所

- 市内の感染状況は、医療機関でのクラスターの発生等により、感染者数が増え、市中への広がり警戒を強めているところだが、感染状況や医療提供体制に大きな影響はなく比較的落ち着いている状況

| | 9月28日 | 10月8日 | 10月28日 | 11月29日 |
|-----------------|-------|-------|--------|--------|
| ① 確保病床数(現フェーズ1) | 609 | 489 | 420 | 428 |
| ② 実質受入可能病床数 | 570 | 482 | 417 | 428 |
| ③ 入院患者数(市外患者含む) | 80 | 34 | 18 | 23 |
| ④ 実質病床使用率(③÷②) | 14.0% | 7.1% | 4.3% | 5.4% |

10/1から
フェーズ3か
らフェーズ2
へ移行

10/18から
フェーズ2か
らフェーズ1
へ移行

【次なる波に備えた医療提供体制の強化】

- 第6波に向けては、これまで第5波までに整備してきた医療提供体制を活かしつつ、外来診療体制の強化や治療薬の処方体制を整備していく
- 病床の効率的な運用、入院受入における機能分化（透析、要介護、妊婦、精神等）と役割分担などを引き続き進めていく

抗体カクテル療法などの治療実績

資料 2-1

令和3年11月30日
保健福祉局保健所

(1) 抗体カクテル療法（ロナプリーブ）の治療実績（11月29日時点）

| | 10月25日 | 11月29日 |
|-------------------------------|--------|----------|
| 【総計：①+②+③】 37か所の医療機関など | 408 | 443(+35) |
| ① 入院受入医療機関の35病院（37病院中） | 340 | 361(+21) |
| ② 第1入院待機ステーション（9/1～9/16） | 68 | 68 |
| ③ 医療機関（クラスター）（11/15～） | - | 14(+14) |

(2) 中和抗体薬（ゼビュディ）の治療実績（11月29日時点）

| | 10月25日 | 11月29日 |
|---------------------------------|--------|---------|
| 【総計：①+②】 4か所の医療機関 | 1 | 24(+23) |
| ① 入院受入医療機関の3病院（37病院のうち16病院登録済み） | 1 | 3(+2) |
| ② 医療機関（クラスター）（11/17～） | - | 21(+21) |

(1) + (2) 抗体カクテル療法などの治療実績（11月29日時点） 合計 467人 (+58)

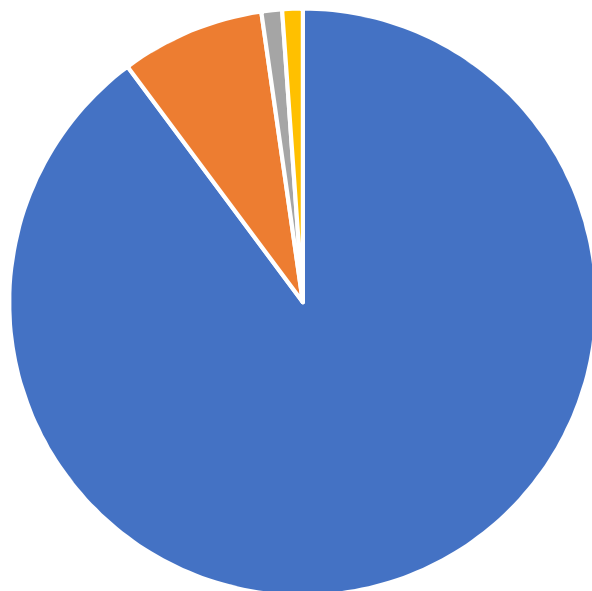
抗体カクテル投与後の症状の変化

資料 2-2

令和3年11月30日
保健福祉局保健所

(N=265)

※令和3年10月31日までの実績について調査



■ 改善、238人、89.8%

■ 一時悪化、21人、7.9%

■ 症状持続、3人、1.1%

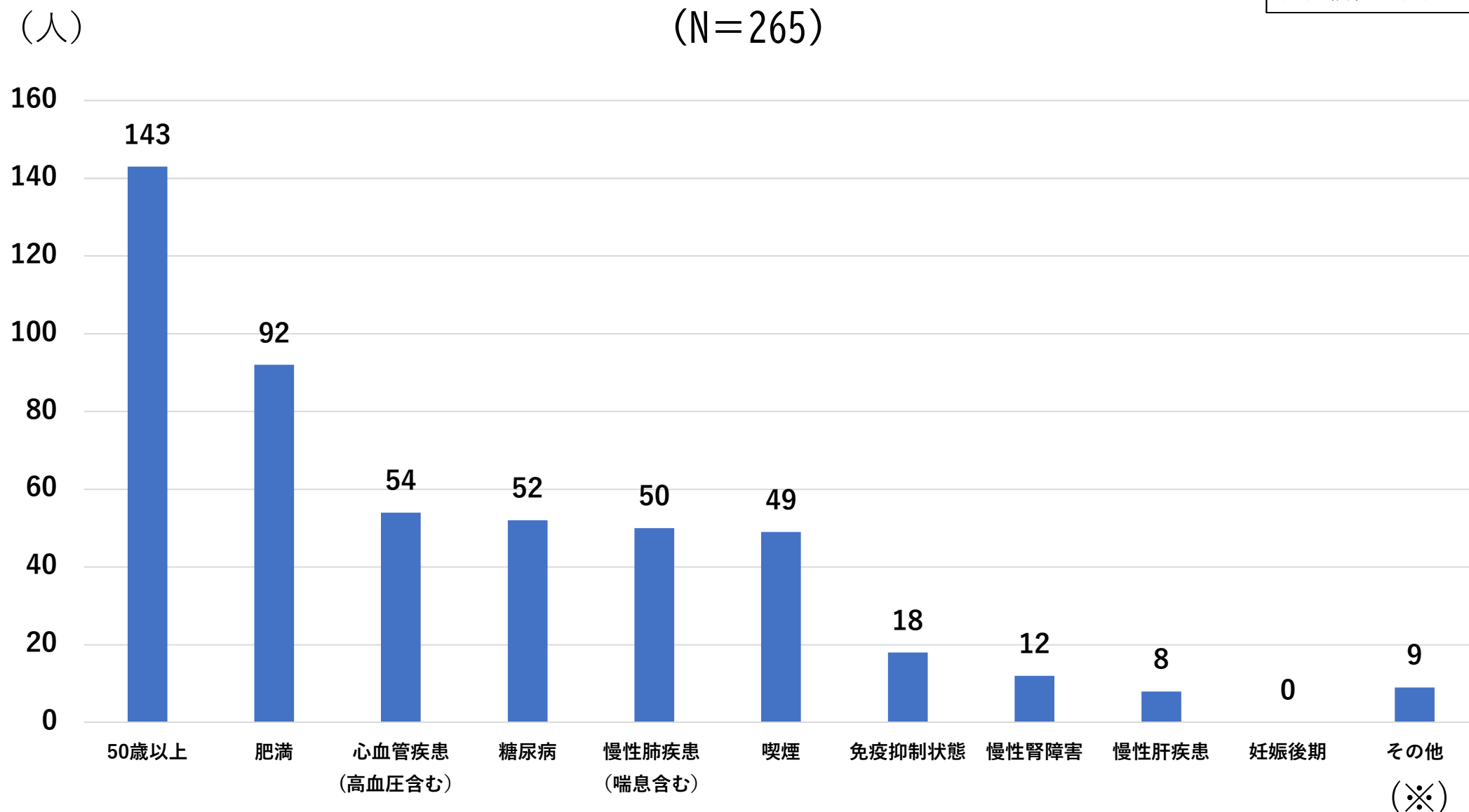
■ 退院のため不明、3人、1.1%

最終的には全員退院し、重症や死亡に至る方はいなかった。

患者の重症化リスク因子の内訳

資料 2-3

令和3年11月30日
保健福祉局保健所



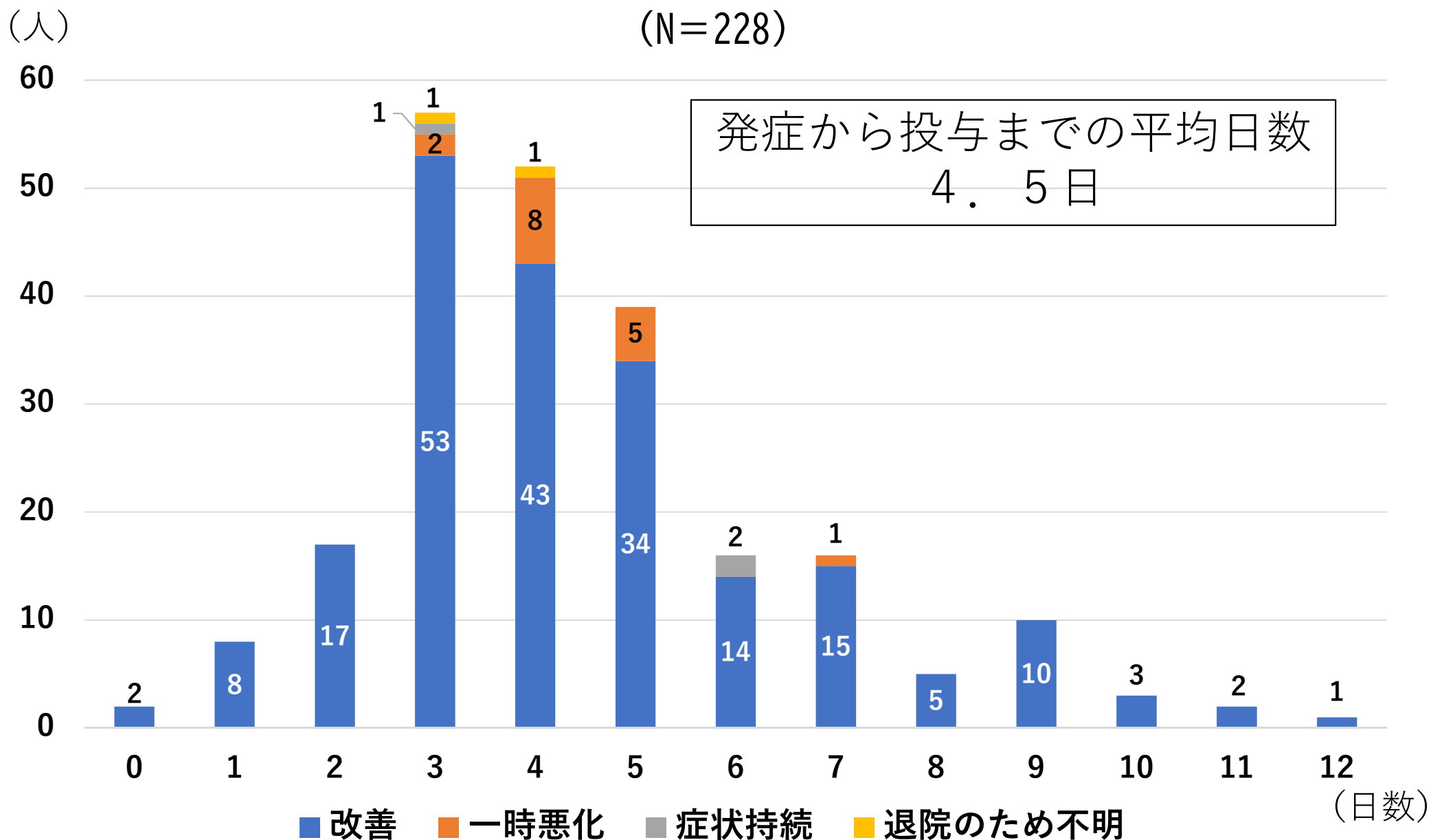
重症化リスク因子

※：癌、高脂血症、アレルギー、脳血管症など

発症から投与までの日数と症状の変化

資料 2-4

令和3年11月30日
保健福祉局保健所

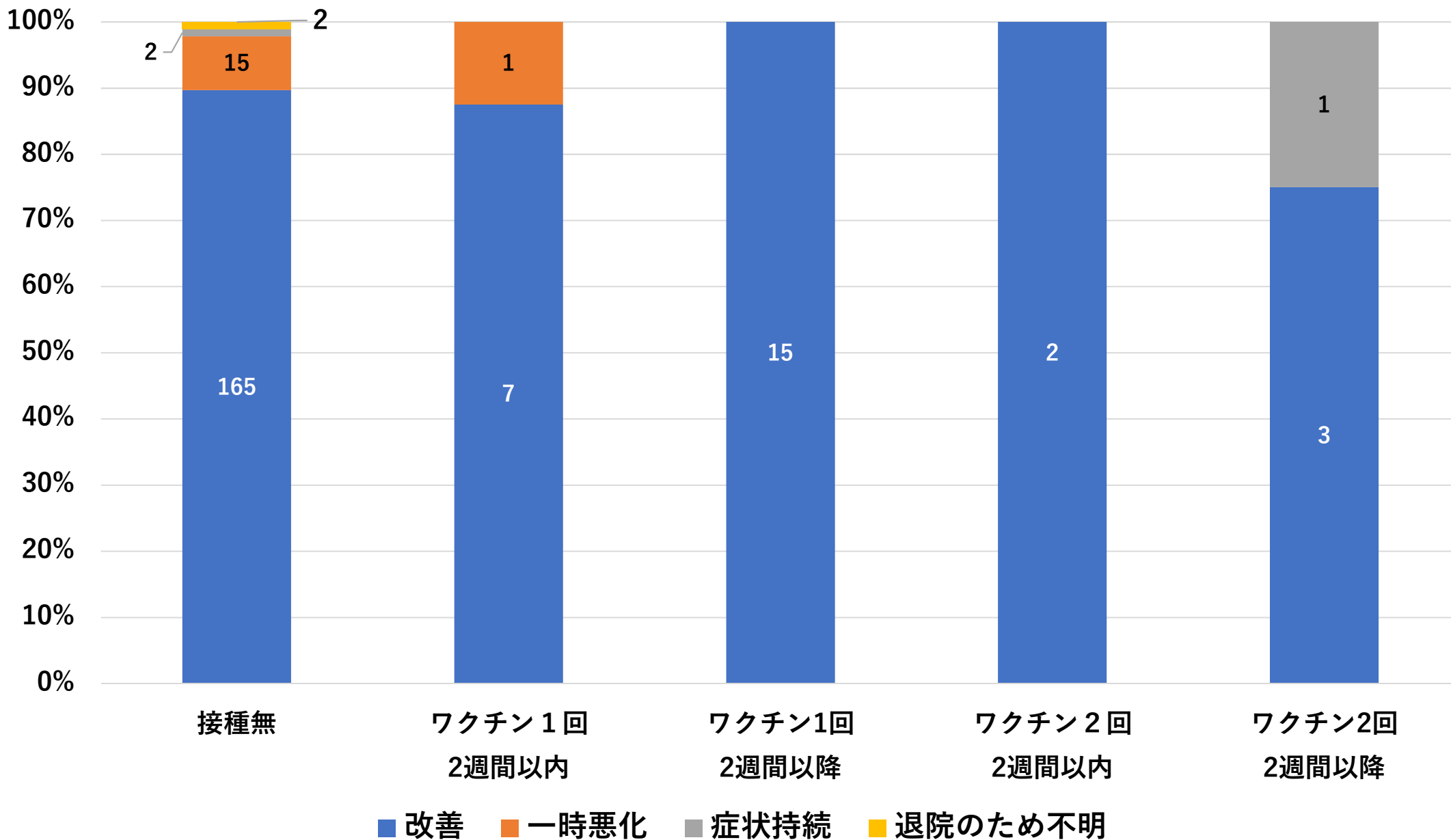


ワクチン接種状況と症状の変化

資料 2-5

令和3年11月30日
保健福祉局保健所

(N=213)



まとめ

資料 2-6

令和3年11月30日
保健福祉局保健所

- 投与を受けた方の89.8%に症状の改善が見られた。一方で、7.9%の方が一時的な症状の悪化があったが、最終的には全員退院し、重症や死亡に至る方はいなかった。
- 患者の持つ重症化リスク因子は50歳以上（143人）が一番多く、肥満（92人）、心血管疾患（高血圧を含む、54人）、糖尿病（52人）、慢性肺疾患（喘息を含む、50人）、喫煙（49人）が多い傾向が見られた。結果としてこのようなリスク因子がある方が重症化せずに済んだ。
- 多くの患者に対し、症状発症から投与までは3～5日と、発症から早い段階で投与ができています。